



聖明福祉会報

第312号

令和7年6月

〒一九八八五三一 東京都
青梅市根ヶ布二ノ七二二
聖明福祉協会
編集発行人 本間清郷
(〇四二八)二四五七〇〇
印刷 有限会社米澤

巻頭言

歴史を紐解く



聖明園をお支え

いただいている

団体、個人④

根性と忍耐で大成功

三笠会館創業者 谷善之丞様
たに ぜんのじょう

一八九九年～一九七六年

銀座の三笠会館は、本年六月に創業百周年を迎えられます。創業者谷善之丞（故人）は、異色の成功者としてその名を後世に残しました。現在の社長谷辰哉様は、四代目として経営を受け継いでこられました。日本でも一等地として知られる銀座に歌舞伎座があり、そのそばで歌舞伎座前氷水屋として創業、昭和七年に骨付き鶏の唐揚げを考案され、一躍有名になりました。私が聖明福祉協会を創業したのは昭和三十年のことでしたが、当時のサラ

リーマンにとって三笠会館の唐揚げは格好の話題の種となっており、裸一貫から始めた店を少しずつ大きくしていった創業者谷社長の忍耐と努力は、今日の堂々たる三笠会館の発展へと繋がっていたのです。

この間、国際ライオンズクラブの関係者が聖明園の応援団として関わってくださっており、国会議員の迫水久恒（さこみず ひさつね）、医学博士の佐藤三蔵（さとう さんぞう）両ガバナリーをはじめ、さらに恩人の一人で政官財にお顔が広く、昭和第一学園高等学校の創設者でもある比留間安治（ひるま やすはる）などとも関わりがあつて、いつしか谷善之丞社長にお近づきを頂くようになりました。そして信仰の厚い谷社長は、聖明園に物心両面のご支援をくださいました。

聖明園では、当時資金集めのために使用済み古切手の収集や書き損じ葉書をご寄贈頂く活動を全国的に展開しており、谷社長にはそれにご協力を頂くとともに、募金箱「光の箱」をお店のレジに置いて頂くことで大変

お世話になりました。これらは今もなお続けてご協力を頂いております。更に、視覚に障害を持つ百人の利用者のために、銀座の食事を度々提供して頂きました。これも外出のままならない利用者にとってどれほど有難かったことか計り知れず、皆で感謝しながら美味しいお料理を頂戴いたしました。



特に聖明園の十五周年、二十周年、三十周年などの記念行事には、式典終了後の祝宴に銀座

の味を運んでくださり、参列者百人、二百人に提供して頂きました。昭和六十年六月八日に行われた創立三十周年では、秩父宮妃殿下を九度(たび)お迎えして、オーストラリアの施設との姉妹提携を行いました。このときには、約三百五十人のご来賓とともに、駐日オーストラリア大使サー・ニール・カリーご夫妻、オーストラリアの盲人福祉協会(Association for the Blind)のダイアナ・ジョーンズ理事長および管理部長のマリー・マウンテンご夫妻、石川要三外務政務次官を交え、三笠会館による豪華なメニューで遅い昼食を召し上がって頂きました。妃殿下はその折、谷善之丞社長に、ご厚意に対する謝意のお言葉をお述べになりました。谷社長の成功の陰にはこうした社会奉仕を惜しまない姿があり、今なお感謝の想いで一杯です。

社員教育に熱心だった谷社長は、平成十八年三月三日、私を講師として招いて下さいました。その折につたない私の話を聞いて下さった方が、今日では幹部として経営に参画していらっ

しゃいます。社員の中から有能な人材を抜擢して経営に参画させておられる現状を見ると、三笠会館の反映は宜(むべ)なるかなと思えました。

(名誉会長 本間昭雄)

評議員会・理事会 令和七年六月五日(木)

五月の理事会は、事業報告及び決算報告、役員及び評議員の改選等重要な議案がありました。

そして六月には、役員及び評議員の選任に加え、理事長の選任に関しては、法人運営が途切れることのないよう、同日に評議員選任・解任委員会、評議員会、理事会を当法人聖明ホールにて行いました。

評議員選任・解任委員会では、社会福祉法人福利厚生センター常務理事の吉田正則氏が新たに評議員に選任されました。

評議員会では、事業報告として感染症の影響による稼働率の低下に直面しながらも、経営の安定を図るための取り組みを行ったことを報告いたしました。決算報告では、人手不足による職員の確保が難しい状況が

継続していることで、施設のフル稼働ができなかった期間があったことや物価高騰が継続していることによる食費や光熱費の費用負担の増額などで大変厳しい内容であったことを報告いたしました。

理事会では、前理事長の本間清郷理事が全会一致で理事長に選定され就任承諾の意志が表明されました。

社会福祉法に基づく、評議員および役員の改選に伴うそれぞれの会議が順調に進んだことにつきましては、関係者の皆様に感謝いたします。

(法人本部事務局長 大野孝志)

奉仕グループの 七重会新年会で講演

一月二十九日、お茶の水女子大学の学生会館「コモンズ」において、奉仕グループ七重会新年会が開催されました。その席上、本間会長は講演の機会を賜り、医療事故による失明体験から、聖明園の設立に至った経緯、法人の現在行っている事業などについてお話しされました。



参加者の皆様は、その当時の会長の苦労話に涙を目に浮かべながら耳を傾けられ、「本間先生が失明しなければ聖明園は存在しなかったのですね。神様は試練をお与えになったかもしれないが、任意団体時代の家庭訪問事業やホームティーチャース事業、その後の盲大学生奨学金事業、盲老人ホーム事業などにより、何千もの視覚障害者を救ってこられました。素晴らしい事業に敬服いたしております。」とのお褒めのお言葉を頂きました。加えて袋一杯の使用済み手と寄付金の贈呈も賜りました。社会福祉法人は株式会社とは異なり、支えて下さる方々がいらっしゃってこそ事業が成り立ってきました。このような機会をお与え下さった関係者の皆様に深甚なる謝意を表したいと存じます。

(曙荘 会長秘書)



中国本土では初となる視覚障害者専門老人ホームの理事長関健氏ら来園

中国東北部の遼寧省瀋陽に、視覚障害者を専門で受け入れる老人ホーム「瀋陽海漫智慧養老中心」が二〇一九年に開設されました。中国本土では初となる施設で、創設者は関健氏です。施設開設のきっかけは、本間会長が理事長当時、関氏がお一人で聖明園にお見えになり、家族が失明したけれども中国では視覚障害者が安心して暮らせる環境が整っておらず、中国の友人から聖明園を紹介されて視察に

来たとのことでした。その当時の様子は、二〇二五年一月五日付『読売新聞』「中国・瀋陽に視覚障害者専門の老人ホーム：日本の視察を経て開設、高齢化進み障害に応じた施設求める声」という記事として掲載されています。その関氏が二月五日に聖明園を再び訪れ、本間会長から指導を受けて施設建設に至ったことへの感謝の気持ちを、「日本の恩人」との言葉とともにお伝えくださいました。関氏は、本間会長と撮影した写真を理事長室に飾っているとのこと、「今後創設者同士、交流を継続したい」とおっしゃりながら、会長との再会を喜んでおられました。

(曙荘 会長秘書)



聖明園曙荘

施設長就任あいさつ

このたび前施設長の退任に伴い、令和七年四月一日付けをもちまして、盲養護老人ホーム聖明園曙荘施設長の職を拝命いたしました。

私は、特別養護老人ホーム聖明園寿荘の施設長も務めておりますが、四月より、聖明園曙荘の施設長を兼務いたします。コンプライアンスを遵守した上で、施設の理念や運営方針に沿ったサービスを実施し、地域や行政、他の機関との連携や広報活動、そして緊急時対応などの管理につきましても滞りなく行ってまいります。

身に余る重責ではございますが、最善の努力をもって新しい施設運営に即応し、入居者、ご家族及び職員の期待にお応えしてまいります。

そして地域福祉の発展のために精励いたしてまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

うお願い申し上げます。

(理事長 本間清郷)

節分豆まき



二月三日(月)、節分豆まきを行いました。年男、年女の皆さんが曙荘内を練り歩き、「御厄払いましょう、厄落とし。鬼は外、福は内」の掛け声が園中に響き渡りました。お部屋の中で参加されている入居者の皆さんからも威勢のよい掛け声が返ってきます。鬼役の職員めがけて力強くまかれた豆で、鬼が退散すると、拍手喝采。今年一年の無病息災を願いました。

昼食に助六寿司や鬼除け汁を

召し上がった入居者からの短歌をご紹介します

先ず福茶 助六寿司の祝い膳
明るい春を 心待ちする

(曙荘 生活相談員)

ひな祭り



少しずつ春の足音が感じられるようになってきた三月三日(月)、曙荘ではひな祭りのお祝いを行いました。背丈を超える大きさの、八段飾りの立派な雛人形が玄関ロビーを華やかせました。「ひな祭り」や「春よ来い」など、季節にちなんだ音楽が流れるなか、利用者の皆様には鍋で

煮込んだ米麴の甘酒と、雛あられが振る舞われました。程よい甘さと上品な味で、皆様美味しいと大変喜ばれていました。

(曙荘 生活相談員)

西中コンサート



三月十五日土曜日に青梅市立西中学校の吹奏楽部の生徒さんが来園して下さり、演奏を聞かせてくださいました。

生徒さんが来られると聞いて、その演奏を楽しみにたくさんの方が集まりました。吹奏楽部の生徒さんでプログラムは

どんな曲がいいか考えを練って下さり、当日は「笑点のオープニング曲」見上げてごらん夜の星を」「花は咲く」「999」を聞かせて下さりました。聞いたところのある曲が、迫力ある楽器のハーモニーで奏でられうっとりとした気持ちになりました。素晴らしい演奏に思わずプログラム終了後に自然とアンコールが沸き起こり、その声にこたえてもう一曲「川の流れるように」を聞かせてくれました。

久しぶりに市内の中学生と交流することができ大変うれしく感じ、今後もこのような危機を持てればと思います。

(曙荘 生活相談員)





ラヴィアンローズ コンサート



五月十四日、ラヴィアンローズのコンサートが聖明ホールにて開催されました。

久しぶりのコンサートにたくさんの方々が集まりました。

ラヴィアンローズは男女二名ずつの四人の歌と演奏のグループです。

美空ひばり山口百恵など、昭和歌謡を中心とした素敵な歌の

数々を披露してくださいました。入居者の皆さんは楽しそうに聞き入っていました。

ラヴィアンローズの皆様、遠いところをいらしていただき、ありがとうございました！

(曙荘 生活相談員)



聖明園寿荘

桜を感じる会

今年も開催しました日本の伝統行事「お花見」。眼の不自由な方が多くいらっしゃる寿荘では視覚以外で花見を満喫して頂く

ため、職員による景色や桜の状態の事細かな説明と同時に美味しい茶菓子をご用意。今年は青梅を代表する銘菓「青梅せんべい」から高齢者でも食べやすい、卵黄を合わせた白餡を、バターを効かせた皮で包み焼き上げた優しい甘さの「青梅ノーブル」をチョイス。さらにプリンと水ようかんも。屋外行事は天気との勝負でしたが、今年も良く晴れてくれて少し暑いくらい。四月の半ばと伝えると驚きの声も。記念撮影のため大きな声でハイチーズ！青空に映える桜。一階二階を別日に開催し、より濃密なお花見時間を過ごしていただきました。

(寿荘 機能訓練指導員)



たまには男性のみで…

リハビリ室は、折り紙、季節の作業、裁縫など、女性入居者が多くいらつしゃいます。

手を動かしながらも、会話は弾み、にぎやかなひと時がよくあります。今回は、男性の入居者のみで時代劇を見ながら、それぞれ思い思いのことをされているリハビリ室は、これまた

静かな空気が流れ良いものでした。
(寿荘 生活相談員)



桜・作成・完成まで

今回の作業は、春を代表する桜の作成です。手のひらよりも小さい紙花を一枚一枚広げる作業は根気が必要です。皆さん、いつものごとく、音楽を聴きながら、時にはお話をしながら取り組みまれていました。そして見事な桜が完成しました。立体感もあるので、ひととき目につきます。一・二階に展示されており、施設内も春満開の装いとなりました。(寿荘 生活相談員)



ひな祭り



三月三日(月)の昼食にひな祭り昼食会を行いました。献立は、海老のちらし寿司・清まし汁・銀たらの漬け焼き・菜の花の胡麻和え、デザートには、桜ロールケーキとピーチシヨートケーキをご用意いたしました。色鮮やかなちらし寿司は見えて楽しい、食べて美味しい、お祝いに合ったお食事でした。お食事中は「海老がのっついて嬉しい」や「自宅でも毎年ちらし寿司を作るのが伝統だった」とにこやかにお声をかけていただけまし



た。デザートは桜の花が可愛らしいケーキに、春を感じていただけだと思います。デザートも「美味しい」と皆様ぺろりと完食されておりました。今後も、お食事で季節を感じていただけるよう努めてまいります。

(寿荘 管理栄養士)

聖明園富士見荘

春のミニコンサート

四月二十二日(火)地域交流スペースにて、ご家族のご厚意で春のミニコンサートが開催されました。皆さんがよく知っている曲を選曲して頂き、春が来た、春の小川、茶摘み、幸せなら手をとたたこう等をボランティアさんと歌いました。美しいピアノの演奏と歌声がユニットを越え外まで響き渡っておりまして。ご入居者様からは、「昔の懐かしい曲だから知っている」「先生の歌声がきれいな」「メロディーは分かるけど歌詞が出てこないから





歌詞の用紙があつて助かった」など話されておりました。普段見られない表情や歌ったりする姿を見て、職員もとても感動しました。音楽は心をひとつにするのだと感じました。また、このようなコンサートをして頂けるのを楽しみにしております。

(富士見荘 生活相談員)

お米をいただく機会がありユニットで炊き込みご飯を食べようということでお米でレクを開催しました。各ユニットで食べたい炊き込みご飯を決めてもらいユニットで炊飯をしました。栗御飯やたけのこ飯・カニご飯などが出ました。炊きあがるまではとても良い香りが漂い待ち遠しい様子でした。炊きあがった御飯はボールに入れご自

お米でレク



分の食べたい量を各自盛り付けていただきました。いつもは小食の方も山盛り盛り付けてペロツと食べていたり、少量ずつ盛り付けて何度もおかわりをさされている方もいらっしゃいました。昔は自分で炊いていたよ、生のお米を見るのは久しぶりね、白いご飯もいいけど味がついているともつといいね、などとても盛り上がったレクでした。

(富士見荘 管理栄養士)



聖明園 富士見荘 開園五十周年に向けて

二〇二五年六月一日は富士見荘開園五十周年を迎えます。富士見荘からは限られた場所になります。富士山が見えており開園記念日を祝うテーマ富士山を掲げ、入居者さんとの作品作りを行わせて頂きました。作品作りをされる入居者の皆さまは、障害の有無に拘わらず思いの感性で下地の富士山を彩る折り紙で鶴を折ったり、視覚障害が有ってもイメージで絵を書いて頂き作品に彩を加えて頂き、シール、スタンプできれいに仕上げて頂きました。

(富士見荘 ケアワーカー)





社会福祉法人名 社会福祉法人 聖明福祉協会
事業所名 社会福祉事業・公益事業合算

第1号第1様式(第十七条第四項関係)

法人単位資金収支計算書
(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	事業活動収入計(1)	1,243,737,000	1,226,091,007	17,645,993
	支出	事業活動支出計(2)	1,240,671,000	1,213,805,204	26,865,796
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,066,000		△9,219,803
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	3,200,000	300,000	2,900,000
	支出	施設整備等支出計(5)	36,020,000	31,195,484	4,824,516
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△32,820,000	△30,895,484	△1,924,516
その他の活動による収支	収入	その他の活動による収入計(7)	48,000,000	20,377,503	27,622,497
	支出	その他の活動支出計(8)	163,277,000	104,378,003	58,898,997
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△115,277,000	△84,000,500	△31,276,500
		予備費支出(10)	8,319,000	—	8,319,000
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△153,350,000	△102,610,181	△50,739,819
		前期末支払資金残高(12)	0	818,773,537	△818,773,537
		当期末支払資金残高(11)+(12)	△153,350,000	716,163,356	△869,513,356

第2号第1様式(第二十三条第四項関係)

法人単位事業活動計算書
(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動の増減の部	収益	サービス活動収益計(1)	1,194,050,171	1,169,041,184	25,008,987
	費用	サービス活動費用計(2)	1,315,448,626	1,291,737,388	23,711,238
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△121,398,455	△122,696,204	1,297,749
サービス活動外増減の部	収益	サービス活動外収益計(4)	29,587,337	31,517,938	△1,930,601
	費用	サービス活動外費用計(5)	16,235,599	18,097,525	△1,861,926
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	13,351,738	13,420,413	△68,675
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	△108,046,717	△109,275,791	1,229,074
特別増減の部	収益	特別収益計(8)	3,148,003	0	3,148,003
	費用	特別費用計(9)	10,549,471	3	10,549,468
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△7,401,468	△3	△7,401,465
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△115,448,185	△109,275,794	△6,172,391
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	1,924,210,476	2,027,162,270	△102,951,794
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,808,762,291	1,917,886,476	△109,124,185
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	21,378,000	7,764,000	13,614,000
		その他の積立金積立額(16)	3,030,000	1,440,000	1,590,000
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,827,110,291	1,924,210,476	△97,100,185

第3号第1様式(第二十七条第四項関係)

法人単位貸借対照表
令和 7年 3月31日現在

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	796,131,140	901,832,624	△105,701,484	流動負債	148,391,784	137,072,087	11,319,697
固定資産	3,740,908,557	3,817,475,390	△76,566,833	固定負債	737,231,380	761,180,370	△23,948,990
基本財産	2,349,361,685	2,454,557,303	△105,195,618	負債の部合計	885,623,164	898,252,457	△12,629,293
他の固定資産	1,391,546,872	1,362,918,087	28,628,785	純資産の部			
				基本金	432,601,803	432,601,803	0
				国庫補助金等特別積立金	1,013,729,979	1,067,920,818	△54,190,839
				その他の積立金	377,974,460	396,322,460	△18,348,000
				次期繰越活動増減差額	1,827,110,291	1,924,210,476	△97,100,185
				(うち当期活動増減差額)	△115,448,185	△109,275,794	△6,172,391
				純資産の部合計	3,651,416,533	3,821,055,557	△169,639,024
資産の部合計	4,537,039,697	4,719,308,014	△182,268,317	負債及び純資産の部合計	4,537,039,697	4,719,308,014	△182,268,317



ボランティア芳名(順不同)

令和七年二月から令和七年五月までに
活動を予定くださっていた方々です。
(敬称略)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和二年の二月よりボランティアの活動の休止をお願いしております。本来であれば活動を頂いております方々を含め、ご紹介させていただきます。

一. クラブ活動援助

【曙荘】

植草由利・星野ふさ江・栗原法子・
伊藤光恵(陶芸)・西村千秋・打越洋
子・溝添茂子・狛守美代子・坂本昭子
(籐編み)・小松志ず子(器楽)・菅原
弘貴(御詠歌)本田正美(コーラス)

【寿荘】

峯岸初枝・双木かつ枝・伊原久子(民
謡)・小松志ず子(コーラス)

【富士見荘】

なし

二. 利用者に対する援助

【曙荘】

たんぽぽ(朗読)・みすず会(朗読)・
心話の会(傾聴)・高野美令・
松尾純子・北島なな子・青梅フリーメ
ソジスト教会(聖書朗読)・
ともしび会(縫い物)・青梅ボラン

なし

【寿荘】

たんぽぽ・みすず会(朗読)・金丸久
子(話し相手)・金丸弘志(マッサー
ジ)・平原サカ江(行事手伝い)

【富士見荘】

青梅傾聴ボランティアうさぎ(傾聴)

三. 慰問・交流・交歓会

昭和会館混声合唱部・眞理ヨシコ・田
中修二(音楽会)・林三津子・井口和
子(演奏会)

四. 中学生体験学習・職場訪問・研修

東大和市社会福祉協議会
ボランティアグループ

三月十三日、東大和市社会
福祉協議会のボランティア
グループの皆様が地域福祉
係の職員の皆様と来所され、
段ボール三箱の使用済古切
手をご寄贈くださいました。

同グループは、令和五(二〇
二三)年三月のこの時期にも
いらしており、その際にも多
数の古切手をご寄贈くださ
いました。毎週の木曜日の
午前中にメンバーが集まり、
持ち寄った古切手の仕分け
などの活動を続けてこられ
たそうで、聖明園をお支え頂
いている皆様に、改めて感謝
いたします。

(曙荘 会長秘書)



表彰

おめでとう
ございます

聖明福祉協会

永年勤続表彰

(令和七年四月一日)

二十年勤続

岩田朋之(曙荘)

十年勤続

能瀬明美(富士見荘)

今後の活躍を

期待いたします



今日も明るく楽しく心豊かな日々 ～利用者の生活～



満開の桜の下、うららかなひととき 🌸



2月のお誕生会、笑顔が素敵です♡

聖明園曙荘



春・彼岸法要



春の日差しを浴びながら

聖明園寿荘



美味しい出前をとりました



外で食べる食事は格別です

聖明園富士見荘